

# NY マーケットレポート (2019年7月3日)

## 2019年7月3日 (水)

アジア主要株価	終値	前日比	年初来%
日経平均	21638.16	-116.11	8.11%
ハンセン指数	28855.14	-20.42	11.64%
上海総合	3015.26	-28.68	20.91%
韓国総合	2096.02	-26.00	2.69%
豪ASX200	6685.46	+32.25	18.40%
シンガポールST	3367.80	-3.00	9.74%
インドSENSEX	39839.25	+22.77	10.45%

外国為替	終値	高値	安値
USD/JPY	107.85	107.92	107.54
EUR/JPY	121.63	121.83	121.32
GBP/JPY	135.63	135.93	135.18
AUD/JPY	75.84	75.90	75.13
EUR/USD	1.1277	1.1311	1.1269
BRL/JPY	28.394	28.413	27.921
RUB/JPY	1.716	1.718	1.700

欧州主要株価	終値	前日比	年初来%
英FT100	7609.32	+50.13	13.10%
仏CAC40	5618.81	+41.99	18.77%
独DAX	12616.24	+89.52	19.48%
スペインIBX35	9394.40	+112.90	10.01%
イタリアFTSE MIB	21905.34	+512.47	19.54%
トルコ・イスタンブール100	99363.32	-837.65	8.87%
ロシアRTS	1401.52	+3.26	31.14%
南ア全株指数	58012.18	-80.30	10.00%

コモディティ	終値	前日比	年初来%
NY GOLD	1420.90	+12.90	10.90%
NY 原油	57.34	+1.09	26.27%
CBOTコーン	441.25	+15.25	17.67%
CRB指数	180.477	+2.634	6.29%
ドル指数先物	96.768	+0.042	0.62%
VIX指数	12.57	-0.36	-50.55%

米国主要株価	終値	前日比	年初来%
米ダウ平均	26966.00	+179.32	15.60%
S&P500	2995.82	+22.81	19.51%
NASDAQ	8170.23	+61.14	23.13%
南北米主要株価	終値	前日比	年初来%
カナダ・トロント総合	16576.20	+104.91	15.73%
メキシコ・ボルサ指数	43483.23	+41.44	4.43%
ブラジル・ボベスパ指数	102043.11	+1437.94	16.11%

Crypto Currency	本日	前日
CME Bitcoin(先物・期近)	11460	10925
Ripple (BSTP)	0.399	0.396
Ethereum (BSTP)	293.93	288.50
Bitcoin Cash	415.02	400.93

\*CMEは米独立記念日前日で短縮取引

\*米国市場は米独立記念日前日で短縮取引

\*一部暫定値

### 7/4 経済指標スケジュール

08:50	【日本】6月対内外証券投資
09:30	【香港】6月購買部景気指数
10:30	【オーストラリア】5月小売売上高
15:30	【スイス】6月消費者物価指数
16:30	【ドイツ】6月建設業PMI
16:30	【スウェーデン】6月平均住宅価格
18:00	【欧州】5月小売売上高
20:00	【南アフリカ】5月電力消費・発電
20:00	【メキシコ】6月消費者信頼感指数

日本国債利回り	本日	前日
2年債	-0.216%	-0.212%
5年債	-0.248%	-0.236%
10年債	-0.150%	-0.146%
30年債	0.352%	0.382%
欧州国債利回り	本日	前日
ドイツ10年債	-0.385%	-0.367%
英国10年債	0.691%	0.722%
フランス10年債	-0.100%	-0.060%
米国債利回り	本日	前日
2年債	1.760%	1.761%
3年債	1.706%	1.709%
5年債	1.734%	1.743%
7年債	1.832%	1.846%
10年債	1.950%	1.974%
30年債	2.467%	2.501%

\*米国市場は米独立記念日前日で短縮取引

### 7/4 主要会議・講演・その他予定

・米国市場休場 (独立記念日 Independence Day)

## NY 市場レポート

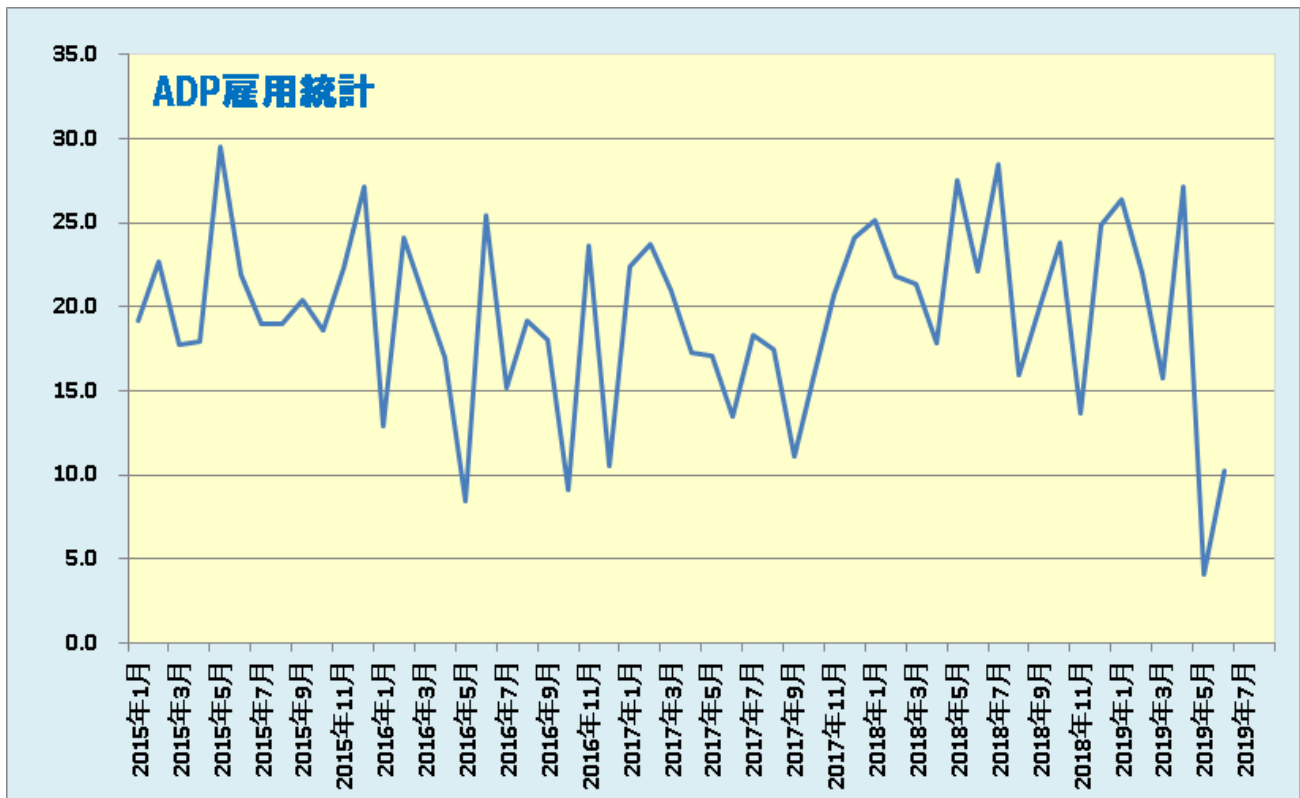
### ◀ NY 市場概況 ▶

NY 市場では、序盤に発表された 6 月の米 ADP 雇用統計が市場予想を下回ったことで、週末の雇用統計にも影響するとの懸念を背景に、ドルは軟調となった。さらに、米貿易収支での赤字額の拡大に加え ISM 非製造業景況指数も悪化したことから、米長期金利が低下したことを背景にドルは対主要通貨で下落した。一方で、予想比下振れた雇用関連指標を受けて、今月末の FOMC での利下げ観測が一段と高まったことから NY 株式市場では主要 3 指数がそれぞれ史上最高値を更新し、リスク選好の動きも見られドル円・クロス円の下値も限定的となった。

### 主要な米経済指標結果

**6 月 ADP 雇用統計 10.2 万人（予想 14.0 万人・前回 2.7 万人⇒4.1 万人）**

6 月の米 ADP 雇用統計では、民間部門雇用者数が市場予想を下回る結果となり、2 ヶ月連続で予想を下回った。前月分は上方修正されたものの、引き続き 2010 年 3 月以来の小幅な伸びにとどまった。業種別では、財生産部門は-1.5 万人、建設業が-1.8 万人、サービス業は+11.7 万人となったほか、規模別では、小規模企業の雇用者数は-2.3 万人、中規模企業は+6.0 万人、大規模企業は+6.5 万人となった。

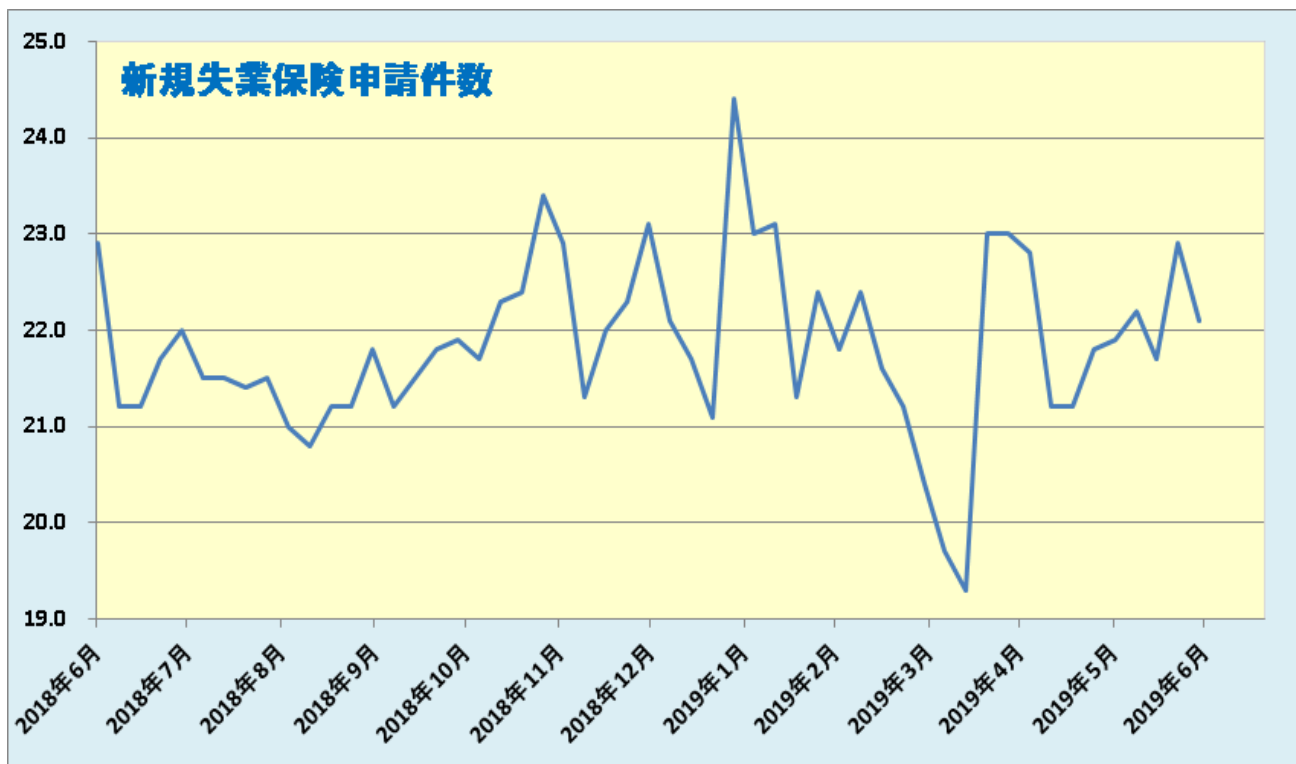


データを基に SBILM が作成

**新規失業保険申請件数** 22.1 万件（予想 22.1 万件・前回 22.7 万件⇒22.9 万人）

**失業保険継続受給者数** 168.6 万人（予想 168.1 万人・前回 168.8 万人⇒169.4 万人）

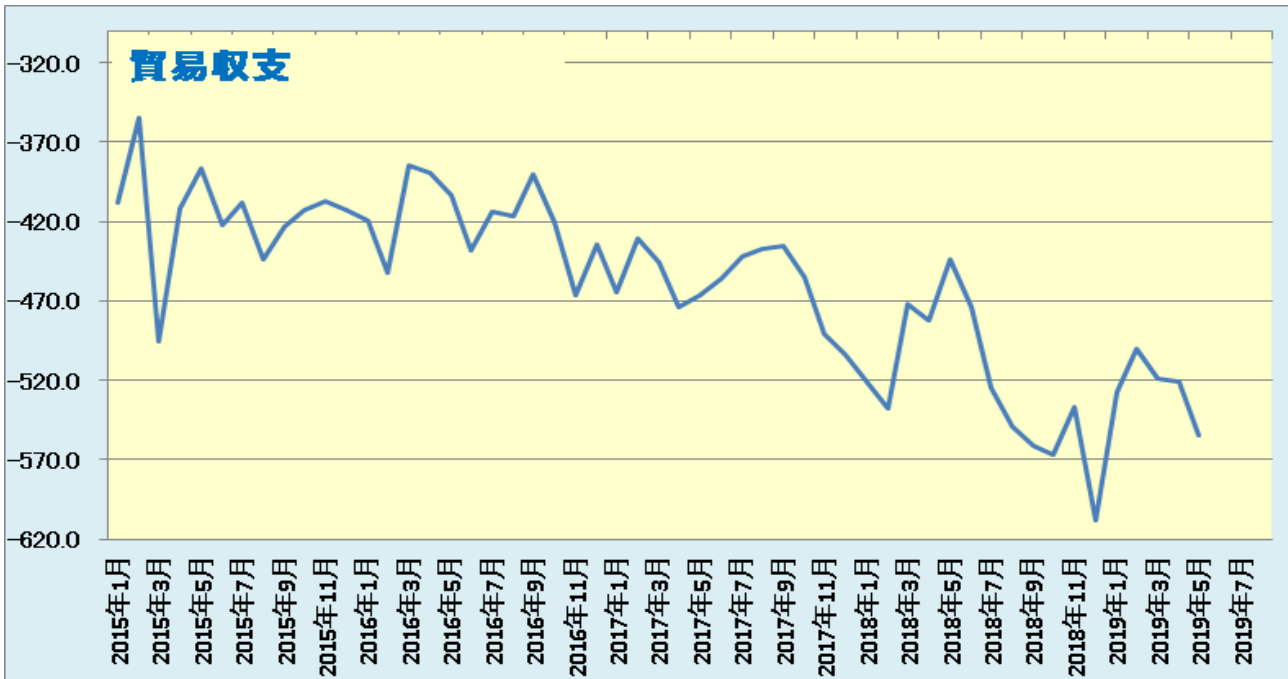
米失業保険申請件数は、前週比 - 0.8 万人と市場予想比改善した。申請件数の 4 週移動平均は、前週比+500 件の 22 万 2250 件。また、集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比-0.8 万人の 168.6 万人となった。受給者数の 4 週移動平均は、前週比-1750 人の 168.6 万人となった。



データを基に SBILM が作成

**5 月貿易収支** -555 億 USD（予想 -535 億 USD・前回 -508 億 USD⇒-512 億 USD）

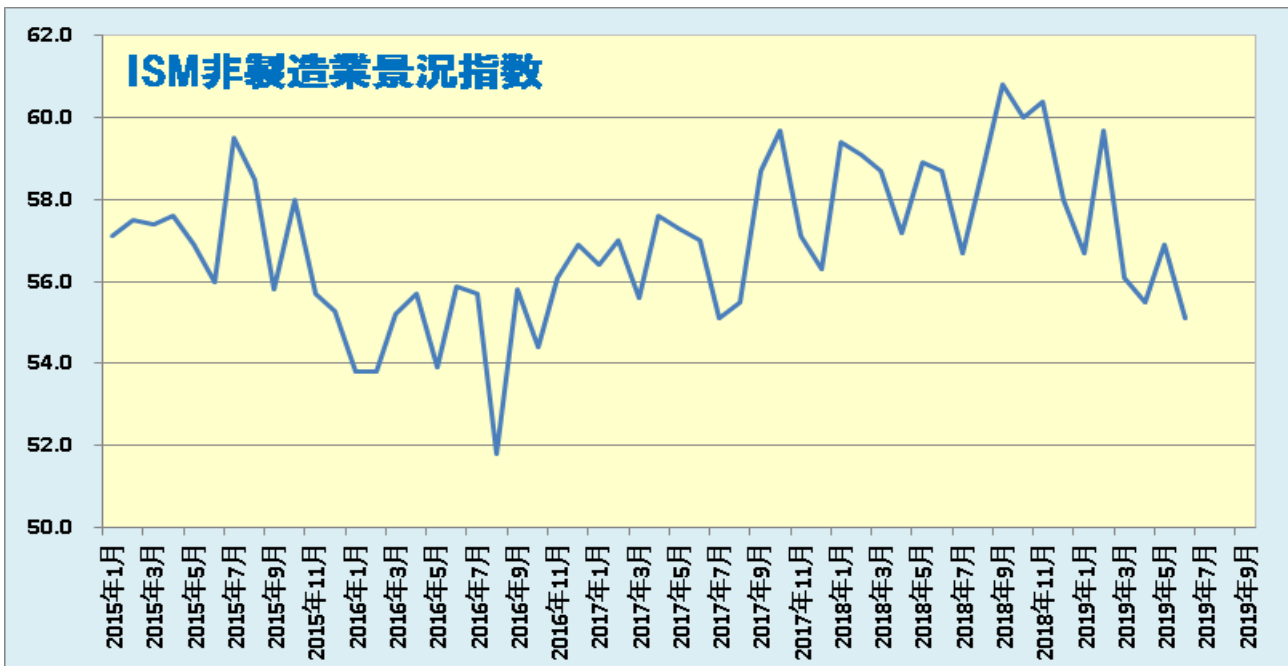
5 月の米貿易収支では、赤字額が前月比+8.4%となり、5 カ月ぶりの高水準となった。輸出が増加したものの、米国政府の対中関税引き上げを前にした駆け込みによる輸入増が影響したと見られる。対中赤字は、前月比+12.2%の 301.9 億ドル（約 3.3 兆円）、対日赤字は-26.1%の 53.5 億ドル、対メキシコ赤字は+18.1%の 96.4 億ドル、対ドイツ赤字はほぼ横ばいの 58.5 億ドルとなった。



データを基に SBILM が作成

**6月ISM非製造業景況指数 55.1 (予想 56.0・前回 56.9)**

6月の米ISM非製造業景況指数は、前月から1.8ポイント低下し、2017年7月以来の低水準となった。関連指数では、仕入価格が58.9(前月55.4)、在庫が55.0(54.0)、と上昇したものの、景況指数が58.2(前月61.2)、新規受注が55.8(58.6)、雇用が55.0(58.1)といずれも前月から低下した。16業種が景況拡大を報告、業況の縮小は1業種に留まった。



データを基に SBILM が作成

### 米主要 3 指数は過去最高値を更新

米株式市場は、米 ADP 雇用統計が市場予想を下回ったことから、今月末の FOMC での利下げ観測が高まったとして米長期金利が低下、10 年債利回りは一時 2016 年 11 月以来の 1.94% 台へ低下、こうした中で主要株価指数は序盤から堅調な動きとなった。米中の通商協議再開へほか、相対的に諸外国と比べ堅調な米国経済や高水準での自社株買いも指数押し上げ要因となり、主要 3 指数はいずれも最高値を更新した。ダウ平均株価は、前日比 179 ドル高で高値引けとなり、昨年 10/3 以来、9 ヶ月ぶりに過去最高値を更新した。一方、ハイテク株中心のナスダックは 61 ポイント高と 6 営業日続伸し、2 ヶ月ぶりに過去最高値を更新、S&P500 も 5 営業日続伸となり、3 日連続で過去最高値を更新した。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	消費財	1.59%	1	P&G	2.33%
2	ヘルスケア	0.96%	2	メルク	1.63%
3	消費者サービス	0.90%	3	マクドナルド	1.54%
4	テクノロジー	0.85%	4	J&J	1.51%
5	石油・ガス	0.57%	5	ナイキ	1.46%

データを基に SBILM が作成

## ドル/円は底固い動きとなった

序盤に発表された6月の米ADP雇用統計が市場予想を下回る結果となったことで、週末の米雇用統計で非農業部門雇用者数も低調に留まるとの見方が浮上し、米長期金利の低下とともにドルは主要通貨に対して下落した。米貿易収支では赤字額が拡大し、ISM非製造業景況指数も悪化したものの、下値は限られた一方で、上値の重い展開となった。今月末のFOMCで利下げ観測を背景に、米主要株価指数は堅調な動きとなり、主要3指数は揃って過去最高値を更新したリスク選好を背景に、ドル円・クロス円は底固い動きとなった。



出所：総合分析チャート

## 前営業日のロシアルーブル、ブラジルリアル

### ◇ロシアルーブル

昨夜3日のルーブルは63.5050ルーブル、対円では1.6966円と対ドル、対円で続落した。米中通商交渉の長期化懸念のほか、世界経済の減速懸念がルーブル買いを抑制したほか、ロシア国債入札への応札需要が鈍化したことも一因となった。

ドル建のロシア RTS 株価指数は 3.26Pts 高の 1401.52Pts と反発したほか、MOEX 指数も連日で史上最高値更新となる 2823.95Pts (14.14Pts 高) で取引を終えた。欧米の早期利下げ観測を背景にルーブル建資産投資への需要が支援材料となった。

#### ◇ブラジルリアル

昨晚 3 日のリアルは 1 ドル=3.82587 レアル、対円で 28.19 円と対ドル、対円で反発した。ブラジル 6 月サービス業 PMI が 48.2 と前月 (47.8) から改善したこともリアル高に寄与した。さらに再来週 18 日からの議会休会を前にした年金改革法案の議会下院通過への期待感を背景にボベスパ指数の上昇を支援材料にリアル高に反応した。また、昨晚の独 10 年債利回りが連日史上最低を更新したほか、米 10 年債利回りも 2016 年 11 月以来の 1.94% 台へ低下するなど欧米の緩和政策を背景に新興国市場への資金流入期待もリアル高の一因となった。

ボベスパ指数は 1437.94ts 高の 102,043.11Pts と大幅反発して取引を終了した。年金改革法案を巡る議会下院通過への期待感から史上最高値を更新、世界的な金融緩和観測を受けた欧米株式市場の上昇もボベスパ指数の上昇要因となった。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。